

ARヒーター取扱説明書

製品説明

ARヒーターは、ボンディング時の流動性を向上させるために、成形済みのインレーやベニアを加熱するよう設計されています。これにより、コンポジット材料の早期硬化を防ぎ、樹脂注入ノズルや麻酔薬などを加熱します。精密回路を用いて加熱モジュールを制御し、温度誤差を±1℃以内に維持します。材料や個人の好みに応じて、温度を40℃、45℃、50℃に設定可能です。

構成

- 1-フィルターカバー
- 2-加熱プレート
- 3-ハニカム構造の加熱パレル
- 4-加熱ベース
- 5-インジケーターランプ
- 6-電源スイッチ
- 7-TEMPボタン
- 8-DC
- 9-電源アダプター



操作方法

- 1. 加熱ベースを平らなテーブルの上に置きます
- 2. 電源アダプターのDCプラグを加熱本体のDCソケットに差し込み、次に電源アダプターをコンセントに差し込みます。このとき、3つの温度インジケーターが同時に点灯します（待機加熱状態）。
- 3. オン／オフボタンを押して加熱本体を起動します。もう一度ボタンを押すと、加熱本体の電源が切れます。加熱ベースのデフォルト温度は40°です（加熱本体の電源が切れているときも、3つの温度インジケーターが同時に点灯しています）。
- 4. ボタンを押して、必要な温度を選択してください。詳細な温度一覧は以下をご覧ください。

| 温度  | インジケータライトの色 | 加熱            | 設定温度に達したとき      |
|-----|-------------|---------------|-----------------|
| 40℃ | 白           | 白色LEDが点灯      | 白色LEDが点灯中       |
| 45℃ | 緑           | 緑色のLEDが点灯している | 緑色のLEDが常時点灯している |
| 50℃ | 青           | 青色LEDが点灯している  | 青色LEDが常時点灯している  |

- 5. インジケーターランプの点滅が点灯に変わると、設定温度に達したことを示します。
- 6. 冷却中は、ランプが交互にゆっくりと点滅します。
- 7. 加熱プレートは、加熱ベースから取り外して加熱に使用できます。また、加熱せずにろ過用としても使用できます。

注意！

- A. 加熱プレートおよび加熱ベースの上で、複合材料をかき混ぜないでください。
- B. 加熱ベースや加熱プレートの底面を傷つけないようにしてください。
- C. 交差汚染を防ぐため、使用済みの加熱ベースおよび加熱プレートは、消毒を行うまで再使用しないでください。
- D. 複合材料が加熱ベースや加熱プレートに付着した場合は、それらを徹底的に洗浄してください。

洗浄および消毒

すべての部品は、滅菌済みの水で濡らした布で拭き取ることができます。いかなる部品も液体に浸さないでください。オートクレーブによる滅菌はできません。

故障時の表示

|              |           |
|--------------|-----------|
| 3つのライトが同時に点灯 | 温度センサーの故障 |
|--------------|-----------|

技術仕様

電源アダプター  
入力：100～240V AC 50/60Hz 最大0.8A  
出力：12V DC 2A  
消費電力：24W  
温度設定：40 ± 1° C、45 ± 1° C、50 ± 1° C  
フィルター範囲：（ライト <500nm）はフィルターカバーを通過できません

保証

本機器のすべての部品は1年間の保証が付いています。人為的な損傷は無料保証の対象外となります。  
不具合が生じた場合は、販売店またはメーカーに修理を依頼してください。  
メンテナンスのために本機器を分解しないでください。ご自身で分解・修理を行った場合、保証期間中の無償保証は適用されなくなります

連絡先  
kashika.jp@gmail.com  
URL:<https://www.kashika.jp/>